

全国運動速報

【発行】 国鉄闘争全国運動事務局

2013年8月23日発行

千葉市中央区要町2-8 DC会館内

nationwidemovement@yahoo.co.jp

東京高裁に弁論再開を要求 10万筆の力で勝利判決を

第3次分

6419筆を提出 9・15集会が最終集約日です



動労千葉と弁護団、支援ら約60人が8月22日、東京高裁の第12民事部に対して、動労千葉鉄建公団訴訟の弁論再開を要求しました。全員で東京高裁庁舎16階の第12民事部を訪れ、難波裁判長との面会を求めました。

そして、国鉄とJR設立委員会が共謀して採用差別を行った決定的証拠である『国鉄改革前後の労務政策の内幕』を提出し、証人調べと弁論再開を改めて要求しました。

同じく争議団の中村仁さんは「国鉄分割・民営化の波の中で闘ってきた。労働者全体の闘いとして解雇撤回をかちとる。なかったことにはさせない」と語りました。

心に迫っている確信がある。ネジ一本抜けばぜんぶ崩れ落ちる。必ずこじあける」と決意を語りました。

さらに6419筆の署名を第3次分として提出し、パンフレット『暴かれた真実』もよく読むよう手渡しました。動労千葉支援する会の山本事務局長が隣室の裁判長に聞こえるように大きな声でゆつくりと要請文を読み上げました。

要請行動の後、当該の高石正博争議団長は「なぜ自分たちが解雇されたのか。証人を調べて明らかにしよう」と述べました。動労千葉の田中委員長は「1047名解雇撤回と外注化阻止は絶対に譲れない闘い。核

署名数 (8月23日現在)

3万3999筆

(これまでの提出分2万7194筆)